



木造校舎落成（開校）十年



正門前の橋より東南へ
(昭和35年3月)



校舎落成(昭和31年12月27日)

小岩五中の建設は、昭和二十九年ごろから検討されましたが、なかなか適当な場所が見つかりませんでした。昭和三十一年になり、少し遠くても、敷地も広く教育環境に適していることが優先され、現在の場所に決まりました。校舎はその年の十二月二十七日に完成し、そして小岩第二中学校の分校として発足しました。それから半年後の昭和三十一年(一九五七年)六月一日に小岩第五中学校として独立開校しました。『東京の真ん中にもこんな道があるのかと思われるような泥にまみれた通学路、ぼつんと広い田んぼの中に学校だけが姿を見せていました。雨の日、通学に悩まされ田んぼにすべり落ちた生徒、水につかって道が無くなった中を靴をぬいでスポンをまくり登校する教職員、二、三日は、長靴でも歩行困難な状況でした。』(当時の記念誌より抜粋)。

左の地形図は、前のページにある地形図に修正を加え、昭和三十三年に測量したものです。小岩第五中学校を探し出してみてください。

開校当時の校舎の配置は「L」の字です。鹿本親水緑道は上の写真にあるように小川でした。『正門前の橋より南東へ』とあるように「橋」は左ページの地図に記載されています。前のページの地形図と学校の橋の位置を比較すると、学校が出来てから橋を正門前に移設したこともわかります。また、鹿本通りは、幅三メートルほどの用水路(東井堀)がまだ残っています。『千葉街道を走る車がよく見えました。』と地域の方が教えてくれました。新中川を建設

していた時代、田園地帯に小岩第五中学校は誕生したのです。

開校後も校舎増築工事は行われ、昭和三十七年には、生徒数が一〇〇〇人を超えます。体育館、プールが落成し、学校としての体制が整備され、校舎の形は「コ」の字になり、開校十周年を迎えるのです。



プール落成式
(昭和40年7月9日)

年月日	主なできごと
1956(昭31)年12月27日	小岩第二中学校分校として校舎落成 1階197.96坪 2階197.46坪 普通教室8 特別教室2 職員室1 衛生室1
'57(昭32)年1月8日	2年生収容 3学期授業開始
5月28日	校舎周辺にみずみち1560本植樹
6月1日	左々木武雄初代校長として着任
'58(昭33)年4月7日	独立 小岩第五中学校として開校
11月30日	校舎増築工事着工
'58(昭33)年4月7日	校舎増築工事完了 引き渡し
10月6日	第二期増築工事着工
'59(昭34)年3月12日	校舎落成式 1階127.26坪 2階121.00坪 普通教室4 特別教室4
3月23日	校庭整地工事完了
'60(昭35)年10月27日	体育館着工
'61(昭36)年10月20日	体育館落成式
'62(昭37)年3月10日	校歌発表会
'63(昭38)年4月1日	石塚良司二代校長として着任
'64(昭39)年4月11日	プール工事着工
10月24日	第18回東京オリンピック開催
'65(昭40)年7月9日	プール落成式
'67(昭42)年4月1日	成瀬大右衛門三代校長として着任 開校10周年記念式典